

まちづくり再論

いま何故“まちづくり”再考か？

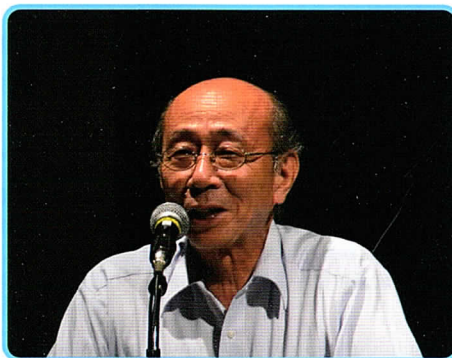
法政大学名誉教授の岡崎昌之先生が自治の現場に焦点を当て、「まちづくり実践論」について話されます。まちづくりの理念や関連政策の変遷、様々な実践例の分析など盛り沢山の全5講で、4講目では、帝塚山大学名誉教授の中川幾郎先生、地域住民と外部人材による地域づくりに取り組んでいる自治体学会員で兵庫県朝来市職員の馬袋真紀さんの3人による鼎談を行います。都市型(豊中市)と中山間地域型(朝来市)の両方のまちづくりの課題を見据え、良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための方策や、住民・事業主・地権者等の多様な主体によるエリアマネジメントについて学びます。人口減少や少子化・高齢化が進む中、自治体の持続可能性を模索している多くの方々にご参加いただき、ともに考える契機にしたいと思っています。



岡崎 昌之

法政大学名誉教授

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業後、(財)日本地域開発センター企画調査部長を経て、福井県立大学教授、法政大学教授。専門は地域経営論、コミュニティ政策論。地域づくり団体全国協議会会長、福島県地域創生人口減少対策有識者会議座長、自治体学会代表運営委員、国土審議会専門委員他歴任。『地域は消えない』(日本経済評論社)、『地域経営』(放送大学)他の著書。



帝塚山大学名誉教授 中川 幾郎



朝来市総合政策課 馬袋 真紀



■ 日 時
2018 6/30(土) 7/1(日)

第1日 受付/12:30 開講/13:00
第2日 受付/10:00 開講/10:30

会場 豊中市立文化芸術センター
TEL.06-6864-3901

- 主催/岡崎昌之先生集中講義「自治立志塾 in 豊中」実行委員会、近畿自治体学会
- 共催/豊中市、自治体学会

〒561-0802 大阪府豊中市曾根東町3-7-2
阪急宝塚線「曾根」駅より東へ300m、徒歩約5分